

**連立方程式の活用 (1)****連立方程式を使って問題を解く手順**

- ① 求める数量を明らかにして, どの数量を文字で表すかを決める。  
(基本的に, 求める数量を文字で表すとよい。  
ただし, 求める数量を文字にしないほうが計算しやすいこともある。)
- ② 等しい関係にある数量をみつけて連立方程式をつくる。
- ③ 連立方程式を解く。
- ④ 求めた解が問題に適しているかを確認する。

【1】ある水族館の入館料は, 大人2人と中学生3人では3100円, 大人1人と中学生4人では2800円である。大人1人と中学生1人の入館料を, それぞれ求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

【2】2けたの整数がある。この整数の10の位の数と1の位の数の和は8になる。また, この数の10の位と1の位を入れかえてできる整数は, もとの整数よりも36大きくなる。もとの2けたの整数を求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

## 連立方程式の活用 (2)

- 【1】あおいさんは、学校から 2000m 離れた図書館まで行く。はじめは分速 70m で歩き、途中から分速 100m で走ると、26 分かかった。  
このとき、あおいさんが歩いた道のりと走った道のりをそれぞれ求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

- 【2】誕生日が同じ父と子がいる。現在、父の年齢は子の年齢の 8 倍である。また、2 年後には、父の年齢は子の年齢の 6 倍になる。父と子の年齢を、それぞれ求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

**連立方程式の活用 (3)**

【1】2つの整数がある。大きい数の3倍と小さい数の和は6になる。また、大きい数から小さい数の2倍を引いた差は23になる。大きい数と小さい数をそれぞれ求めなさい。

答え

【2】ある店で筆箱とノートをつづつ買った。定価の合計は750円だったが、その店では筆箱は3割引、ノートは2割引で売っていたので、代金の合計は540円だった。筆箱とノートの定価をそれぞれ求めなさい。

答え

**連立方程式の活用 (4)**

- 【1】車で310km離れた目的地まで移動する。はじめは高速道路を時速100kmで走り、途中から一般道を時速50kmで走ると、合わせて3時間30分で目的地に着いた。このときの、高速道路と一般道の走った道のりをそれぞれ求めなさい。

答え

- 【2】ある学校の昨年度の入学者数は男女合わせて350人だった。今年度は、男子が5%減り、女子が20%増えて、全体では370人に増えた。昨年度の男子の入学者数を  $x$  人、女子の入学者数を  $y$  人 とおいて連立方程式をつくり、今年度の男子、女子の入学者数をそれぞれ求めなさい。

答え

**連立方程式の活用 (5)**

- 【1】1000円を持って文房具を買いに行くとき、鉛筆8本とボールペン2本を買いと120円あまるが、鉛筆6本とボールペン5本を買いには80円足りないことがわかった。鉛筆とボールペンの1本あたりの値段をそれぞれ求めなさい。

答え

- 【2】ある列車が、970mの橋を渡り始めてから渡り終わるまで30秒かかった。また、同じ列車が同じ速度で、2220mのトンネルに入り始めてから完全に出るまで1分かかった。この列車の長さ与时速を求めなさい。

答え